

ひびばい

市議会だより

令和7年8月1日

72号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

4/23 第88回 北海道市議会議長会定期総会（市民会館）

令和7年第2回定例会は6月11日に開会しました。市政報告では、「本市元職員の逮捕」について、を含めた3件の報告が行われました。議案として市長から承認案件4件、単行案件2件、補正予算案件2件、報告案件4件が上程されました。また、市民からの陳情が1件議案となりました。一般質問は16日に5人、17日に5人の計10人の議員が市長、教育長に質問しました。18日には各常任委員会が開催され、19日には予算審査特別委員会が開催されました。最終日となった20日には本会議が開催され、市長から人事案件1件、議会から意見書案5件、人事案件3件が提出され、可決されました。意見書は、「地方財政の充実・強化に関する意見書」、

第2回定例会（6月11～20日）終わる

☆ 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

6574万円9千円可決

☆ 令和7年度下水道事業会計補正予算（第1号）

2830万円可決

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 議会構成
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

「義務教育費国庫負担制度の拡充など教育予算の充実を求める意見書」、「国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書」、「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書」、「国内農業を犠牲としない日米関税交渉及び、米価の再生産可能価格維持を求める意見書」の5件が提出となりました。陳情1号のみ、継続審査となり、その他議案は全件可決となり、第2回定例会は閉会しました。

一般質問

今定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁は本人が要約したものを掲載しています。

みずほ議員会

松山 教宗 議員



問 新市立美唄病院が開院し一年が経ったが状況を伺う。

答 開院後前年比で入院・外来患者数ともに約2000人ずつ増加。入院で内科が26・4%増、外科が22・8%減。外来では内科11・1%増、産婦人科14・3%増、耳鼻科19・5%増など。病院外構整備として年度末迄に駐車場整備完了予定。昨年度、常勤医の総合診療医2人採用。今後、医師住宅を整備するなど医師が安心して勤務できる環境整備に力を入れ定着しやすい病院づくりを進める。また医事部門(窓口)を段階的に市職員のみで体制に変更。病院経営として診療収益が増収したが、人件費増や物価高騰の影響により費用が増え、全国的な傾向と同様に厳しい状況。

問 新病院の経営は厳しい状況とのことですが持続可能な運営に向けてどのように。

答 市立病院経営強化プランに基づき収入確保、費用削減に努め安定的な経営に向け取り組む。病院経営を左右する医師確保は重要なため日本プライマリケア連合学会北海道ブロック支部事務局での総合診療医との繋がりを大切に診療体制の充実に努め、総合診療医の指導医体制が整い、家庭医療専門研修プログラムの道立羽幌病院や砂川市立病院の連携業院として位置づけられ研修医や医大生の臨床実習受け入れを積極的に行い将来的な医師確保に力を入れていく。在宅医療について高齢化が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らす支援として平成27年度に訪問診療、平成28年度に訪問看護に取組んでいる。今後は訪問看護を更に充実させるため訪問看護ステーション化を進め介護事業所等との多職種連携を強化し患者様が退院後も安心して在宅療養できるように切れ目のない医療介護の提供に努めていく。

市民交流クラブ

江川 いづみ 議員



問 地域福祉会館を活用した地域活性化、安定した運営のためにどのような方策を検討されているのか伺う。

答 また、地域福祉会館の新たな役割を見据えた調査や検討が必要と考えるが、市長の考えを伺う。その際、地域住民に寄り添った支援をすること、地域福祉会館を全庁的に活用することを要望します。
問 町内会や老人クラブの活動のほか、高齢者を中心としたサロン活動、多世代が交流できる地域食堂、ボランティア活動、防災に関することなど多面的に活用できる仕組みづくりを支援していくことで、地域全体が活性化されるところに、安定した会館運営を続けていけるものと考えております。また、地域福祉会館の

現状を踏まえ、課題の把握に努め、住民のニーズや地域特性を分析し、「複合的な地域拠点」として新たな役割を定義し、地域福祉会館の将来像を市民の皆さまと共有して必要な施策を講じます。

問 元職員による収賄事件の原因について、市長の発言に「コンプライアンス(法令遵守)やモラル(倫理)を軽視する文化がある」という懸念が払拭できない」とありました。不祥事が続く中、信頼回復に全力で取り組んでいくのであれば、「内部統制報告制度」を導入し、市長の責任においてガバナンス機能(組織を統制・管理する仕組み)を強化する必要があると考えるが、市長の考えを伺う。
答 今般の事件等に対する当面の取組を優先しつつ、ガイドラインに基づき、「整備方針の策定」、「課題及び対策の整理」、「対象とするリスクの選定」、「評価及び評価結果の公表」、「組織体制の整備」など、議会や監査委員と連携を図り、長期的な視点に立って取り組む必要があり、引き続き検討を進めてまいります。

令和議員会

海鉾 則秀 議員



市議会だより

(3)

問 コアビバイは、民間で運営している商業施設ではありませんが、地元の小売業者やJAびばいが施設内に入り、市民の雇用の面からみても必要だと思えます。その為、コアビバイの施設の修繕などにも市が積極的に関与していくべきではないか。

答 市としては、これまで「協同組合コアビバイ」に対し、地域おこし協力隊の活動として商業施設に人を呼び込み、賑わいを創出するための活動や毎週土曜日の買い物バスの運行などに、美唄市中小企業振興補助金を活用するなど側面から支援してきたところであり、今後も引き続き中心市街地の賑わい創出や、商店街の活性化を図るため支援に努めていく。

問 地元農産物を扱うJAびばいの「もぎたて市」は朝早くから行列ができるほどの人気です。

作っている農家の方達も、朝収穫したばかりの物を新鮮なまま安く消費者に届けて喜んでもらえることを楽しみにしている。「協同組合コアビバイ」の動向にかかわらず今後とも市として「もぎたて市」を残していくべきと思う。

答 もぎたて市の機能は、食の新鮮さや安全性が保たれるほか、生産者と消費者の結びつきを強める地産地消の推進、食文化の継承などの食農教育、地域経済の活性化、環境負荷の低減など多岐にわたる魅力を持つ場所であると認識している。

市としても、このような多岐にわたる魅力を持つもぎたて市は、美唄市農産物の魅力を発信する重要な場所であると認識している。今後においても、美唄市農産物のPRや販路開拓などの取組の中でその魅力を発信していく。

無会派

永森 峰生 議員



問 市役所の組織として何が原因で短い期間で不祥事等がいくつも起きているのか。分析と認識について。

また、全庁的なガバナンスの強化、コンプライアンスの強化を市民に示すため法に基づく内部統制による体制整備に取り組むべきである。市長の見解を伺う。

答 このような事件が連続して発生したことは重大な事態と受け止めており、それ以上に職員に公務員としてのモラルやコンプライアンスが欠如していることが大きな要因の一つと考え大きな危機感を持っている。内部統制については「地方公共団体における内部統制制度の導入・実施ガイドライン」を踏まえ検討してまいります。

問 市税等の収納対策として、競売の実施とともに非強制公債権や私債権については、支払督促などの一歩踏み込んだ対策が重要ではないか。また、決算概要について、各部署からの報告を集計し、2億5千万円の不足を見込み、3億円の財政調整基金を繰り入れている。結果、約4億円の赤字としているが決算見込みがあまりにもお粗末ではないか。

答 納税者の公平性の観点から適正な債権管理と収納対策の徹底が求められていることを認識し、より、実効性の高い対策や市営住宅使用料などの債権についても、支払督促や訴訟手続きの活用など強固な債権管理体制の構築を図る。収支見込みについては、精度の向上に取り組み、定期的な財政状況の説明を通じ、庁内の財政に関する危機意識の醸成に努める。

《その他の質問事項》
◎地域医療について（市立美唄病院）
◎教育行政について（豊かな心の育成・ピア・サポートについて）

令和議員会

森 明人 議員



問 電気自動車充電設備について

近年、EV充電施設を公共施設等で多く見かける。地球温暖化対策・大気汚染対策の一環で、環境問題への配慮、エネルギー効率の向上・国策による後押しが複合的に作用している。EV充電設備の利便性向上により、観光促進や地域の経済効果が期待されます。本市のEV充電設備を伺う。

答 充電設備の考え方を伺う。

答 本市における充電設備は民間事業者が設置している1か所となっている。充電設備の設置については、普及率や周辺市町村の充電設備の設置状況に注視し対応を検討する。

問 本市に1か所有するが200V普通充電設備です。北海

市 議 会 だ よ り

道35市で急速充電施設が無い市は美唄・夕張・苫別・赤平・歌志内の5か所です。流入・関係人口が増え、地域経済の活性化・労働力の確保・新たな視点の導入・地域文化の維持・発展など様々なメリットがあります。国の補助金等を使い、急速充電設備または200V普通充電設備の見解を伺います。

答 充電設備の導入に当たっては、急速充電設備導入の場合、設備によって異なりますが、最大600万円を上限額とした国の補助があるものの、1200万円程度の導入コストと電気代や管理費として年間100万円以上のランニングコストを要する。200V充電設備の場合、導入コストが急速充電設備と比較し安価であるが、充電に時間がかかることから、設置数を含め様々な点について、調査分析が必要であると考えている。将来の関係人口・交流人口の増加や地域経済の活性化を目指すため、導入に当たっては持続可能な設備となるよう設置場所や費用対効果について、検討していく。

市民交流クラブ

山上 他美夫 議員



問 美唄市は「美唄市中心市街地活性化協議会」を設置したが、市は本計画の推進者として基本となる計画や構想を持つているのか。また、協議結果を国の助成制度につなげ、中心市街地に会議や展示・発表・交流ができるコンベンション施設の建設が必要であると思うが考えを伺う。

答 美唄市中心市街地活性化基本計画は第7期美唄市総合計画の中で明記され、美唄商工会議所や関係団体・市民など18人の構成員による基本計画の策定を進めています。国の助成制度についてですが、本計画が国に正式に認定された場合、本事業を行うことで国から補助金や交付税措置、あるいは利子補給などより有利な財源を確保することができ

き、現在、計画の策定に向けて協議を行っているところで

問 フードバンクとは様々な事情から廃棄される食品を、福祉団体や生活困窮者に配布する活動で、美唄市でのフードバンク活動は現在、美唄消費者協会が窓口となり活動しているが、市が保有する消費期限の迫った災害用食料備蓄品の有効活用などの観点からフードバンクへ提供し、消費者協会と連携してフードバンク活動を推進すべきと考えるが、美唄市の認識を伺う。

答 本市の災害用備蓄食品は、美唄市防災備蓄計画に基づき、計1000食分を備蓄しており、消費期限は5年です。期限を迎える災害用備蓄食品は1日防災学校などで、喫食体験用として配布して廃棄処分することなく有効活用を図っており、国や北海道においても食品ロスの削減及び生活困窮者支援の観点から、フードバンクへの提供に取り組んでいますので、本市においても食品ロスが発生しないようフードバンクへの活用にも努めて参ります。

無会派

本郷 幸治 議員



問 内閣府防災担当では、能登半島地震を踏まえた災害の在り方やスフィア基準を踏まえた「自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドラインの改定」が決定されました。そこで新たに導入されたスフィア基準についての認識について伺う。①この基準に基づく「トイレを20人1基とする見解について伺う。②同基準に基づく入浴施設の規程について見解を伺う。③同基準に基づく避難所1人当たりのスペース「最低3・5㎡」とし、段ボールベッドなどが置ける広さの確保を目指す取組について伺う。④政府では、被災地のニーズに応じてキッチンカーやトイレトレーラー、ランドリーカー等を迅速に提供するための事前登録や災害ボラン

ティアとして活動する支援団体の事前登録制度を検討しています。本市でも積極的に取り組むべきと思いますが見解を伺う。

答 スフィア基準は、避難所の衛生、食料、水供給などの最低基準を定めた国際的なガイドラインであります。

①現在、避難所運営につきましては、美唄市防災備蓄計画に基づいて整備を進めており、トイレにつきましては、簡易トイレ、自動ラップ式トイレを合わせて48基を整備しております。②現在入浴施設を有する避難所は7か所ですが、民間宿泊施設や社会福祉施設等の支援をいただき、避難者の入浴の機会の確保に努めてまいります。③避難所開設・運営マニュアルにおいて、一人当たりの必要面積を災害発生後は1㎡、1晩目以降は2㎡、展開期以降は3㎡とフェーズごとにスペースを広げていくこととしております。④現在本市においては、各種の登録制度は未整備ですが、災害協定の締結や社会福祉協議会などと連携を図り、迅速な対応ができる体制整備に努めてまいります。

市 議 会 だ よ り

令和議員会

川上 美樹 議員



問 基盤整備が終わっていない地区について早急に取り組むべき。生産者の皆さんの心がこもった美唄のお米、農産物は美味しい。美唄が日本の食糧基地の、ど真ん中として役割を果たせたらと思う。全国、世界の人人々に美唄産農産物を食べて貰いたい。今後の農業行政への市長の決意は。

答 農地の7割は整備済、残り3割について取り組む。雪での貯蔵、あぜ道にハーブを植え減農薬を、市独自の交付金やドローン等の最新技術で効率化を図ってきた。基幹産業としての農業を儲かる農業、かつこいい農業の実現・発展に向けて支援する。

問 南空知圏の連携した取組を充実させ、最少の経費で最大の効果を出すため、事業の

有効化、効率化、経済化を図るべき。さらに、ふるさと納税も周辺市町村で連携し、増収を図るメニューも考えてみてはどうか。

答 周辺市町村と連携し、南空知全体としての魅力を高めるような返礼品の開発や観光回遊性の向上を図るのは意義がある。今後、会議の場で、各市町村の課題等を共有の上、検討していく。

問 東明公園の桜の木が老朽し、てんぐ巣病が広がっている。このままでは数年後には多くの木を失う。今すぐに対処すべきでは。また管理を行う人材も必要では。今のままでは、桜の名所がなくなってしまう。

答 東明公園は、開園から62年が経過し老木が増えた。年2回剪定作業を行っているが、早い段階で整備を開始できるように補助金など財源や整備手法を検討する。市民の皆さまと桜の維持管理を協働できる体制作りも検討する。

無会派

吉岡 建二郎 議員



問 市政報告の「本市元職員の逮捕」について、平成18年に類似の事件があったが、その際の再発防止策は今回の件に対して機能していたのか。

答 平成18年の事件後の取組としては、予定価格1000万円以上の工事については、原則、美唄市内を対象とする地域限定型の一般競争入札を実施したほか、談合防止対策として効果的な郵便入札を実施するなど、必要な改善策を講じてきた。不正防止に対する効果はあったものと認識している。

今般の事件は平成18年の事件とは一部様相が異なるため、これまでの制度は維持しつつ、今後事件の詳細が判明され次第、最低制限価格の取扱いなど、新たな再発防止に向け有

効な対策を調査・検討していく。

問 学校施設環境改善交付金について、今年度全道的に不採択が急増しているとの報道があった。本市の今年度の事業への影響は。

答 これまで学校の大規模改修や普通教室等にエアコンを設置するなどに活用してきた交付金だが、令和7年度は、総合体育館冷暖房設備の整備について、交付金を申請し、すでに交付決定されているため、本市においては国の予算削減の影響はないところである。

問 来年度以降の交付金の活用計画について。また、大規模事業の予定はあるのか。

答 今年度予算で実施設計を進めている美唄中学校のトイレの洋式化を含む給排水設備改修工事を令和8年度に予定し、概算事業費520万円の3分の1を交付申請予定である。なお、大規模事業については、今のところ予定している事業はない。

無会派

伊原 潤司 議員



問 工業用水道事業について、今後の展望について現在市内の事業者で工業用水を使用しているのは僅か12社と聞が、年度当初の予算で既に赤字補填の為の金額が計上されており、毎年繰り返されている。

赤字改善の傾向さえ見られない、いわば垂れ流しの放置と思われる。上水道使用に切替えて、工水との差額補填を行う代替策の方が余程賢明な財源の使用法と思われる。

加えて埋設導水管の老朽化は明確であり工水の維持を前提とするならば抜本対策こそ喫緊の課題であるにも関わらず、赤字も老朽化も検討の俎上にさえ上がらないのは大問題と考えるが展望を伺う。

答 工業用水道は重要なインフラとして不可欠である。ま

市 議 会 だ よ り

た、企業誘致には工業用水道を有している事がPR活動での切り札となっている。

一方で施設老朽化の進展で大規模改修の必要が迫っている事も事実であり、今後の工業用水道事業の継続について慎重に検討を進める。

問 令和8年4月からの小学校給食の国による給食費無償化対応について、自主財源による無償化の先進地としてこの変化への対応に具体策はあるのか伺う。

答 国の学校給食費無償化は次年度4月から小学校で開始され、その後中学校へも拡充される。係る状況下でも食材の価格高騰は止まず、国からの財源措置は本市の学校給食の質を落とす事なく、更なる充実に大変有効であると受け止め、今後においてもより質の高い安全で美味しい給食を提供する事で、子どもたちの食育や健康増進に寄与し将来を担う人材育成にもつなげていく事が期待される事から、財源の更なる有効な活用については市長部局と前向きに協議していく。

委員会の報告

常任委員会と特別委員会での質疑応答と議論の主な内容

第2回定例会

《総務・文教委員会》

35号 財産購入の件（小中学校コンピュータ機器）

問 基本的な考え方として、全ての児童生徒及び教職員に1人1台の端末の購入のほか、予備機を購入するところがあるが、今回購入する1060台の端末のうち、予備機はどの程度を見込んでいるのか

答 今回、北海道の共同購入という形で調達であり、国の補助金を充てるための基準として、児童生徒数の15%が予備機として認められていることから、本市では全体の13%となる138台の予備機を購入する予定である。

35号 原案可決

《産業・厚生委員会》

36号 美唄市字の名称及び区域変更の件

問 換地処分を行うことにより、住民票の住所が変わるこ

とがあるとのことだが、そうなった場合、職権でおすのか、又は申請が必要なのか

答 換地処分に伴う住所変更については、職権でおすことになる。

36号 原案可決

《議会運営委員会》

陳情1号 美唄市議会の組織運営のあり方に関する陳情
陳情1号 継続審査

《予算審査特別委員会》

委員 長 川 上 美 樹
副委員長 松 山 教 宗
37号 令和7年度美唄市一般会計補正予算(第1号)

表 1 補正予算

承認5号 令和6年度美唄市一般会計補正予算（第13号）

補正額 0円
補正後の予算総額 206億4804万0000円

歳入	地方交付税	特別交付税	△2億4122万6000円
	寄附金	地域振興費寄附金	△5877万4000円
	繰入金	財政調整基金繰入金	3億0000万0000円

承認6号 財政調整基金使用の件

【財政調整基金現在高見込額】

令和5年度末現在高		12億6471万5000円
令和6年度中増減見込額	増	2億7075万8000円
	減	3億0000万0000円
令和6年度末現在高見込額		12億3547万3000円

市 議 会 だ よ り

問 「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業（不足額給付金）」について、昨年も行われていた事業で、プッシュ式での支給を行っていた経過があるが、今回、給付を受けるためにはどのような手続きが必要となるのか

答 支給方法については、プッシュ式の支給を基本とし、今回初めて対象となった方は、口座情報の提出をいただいたことから支給決定となる。また、令和6年1月2日以降に本市に転入された市民の方は6年度の課税情報等が本市にないため、申告手続きを行っていただいた上で支給についての判定を行うこととなる。

38号 令和7年度美唄市上下水道事業会計補正予算（第1号）

問 「大規模下水道管路特別重点調査」の対象が、平成6年以前に設置された管路ということだが、その年を区切りとした根拠は何か。

答 平成6年以降に設置された管路は、陥没等の発生件数が極めて少ないことに加え、軟弱地盤等には可とう性の継ぎ手を使用するよう設計基準

等も変更となっており、ことから、国から平成6年以前を対象に調査するよう指示されている。

37・38号 原案可決

議会構成

（議決を要する人事）

◇常任委員会◇

総務・文教委員会

委員長 川上 美樹

副委員長 古賀 崇之

伊原 潤司

吉岡 建二郎

山上 他美夫

森 明人

産業・厚生委員会

委員長 齋藤 久美夫

副委員長 海鋒 則秀

永森 峰生

江川 いつみ

本郷 幸治

楠 徹也

松山 教宗

議会運営委員会

委員長 松山 教宗

副委員長 川上 美樹

古賀 崇之

齋藤 久美夫

森 明人

桂沢水道企業団議会議員

谷村 知重

山上 他美夫

石狩川流域下水道組合議会議員

松山 教宗

南空知ふるさと市町村圏組合議会議員

谷村 知重

空知教育センター組合議会議員

江川 いつみ

（議決を要しない人事）

青少年問題協議会委員

古賀 崇之

森 明人

都市計画審議会委員

海鋒 則秀

吉岡 建二郎

山上 他美夫

松山 教宗

議員会役員

（兼森林・林業・林産業活性化美唄市議会議員連盟）

会長 松山 教宗

副会長 森 明人

幹事 永森 峰生

幹事 古賀 崇之

幹事 齋藤 久美夫

第2回定例会での審査議案

（簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。）

承認5号 専決処分の承認を求める件（令和6年度美唄市一般会計補正予算（第13号）（表1））

承認6号 専決処分の承認を求める件（財政調整基金使用の件）（表1）

承認7号 専決処分の承認を求める件（令和6年度美唄市病院事業会計補正予算（第1号））

承認8号 専決処分の承認を求める件（美唄市税条例の一部改正の件）

報告7・11号 例月出納検査結果報告

報告12号 定期監査報告

報告13号 株式会社美唄ハイテクセンターの経営状況報告書提出の件

報告14号 継続費清算報告書の件（美唄市一般会計）

報告15号 繰越明許費繰越計算書の件（美唄市一般会計）

報告16号 繰越明許費繰越計算書の件（美唄市介護サービス事業会計）

議案35号 総務・文教委員会

議案36号 産業・厚生委員会

議案37号 予算審査特別委員会（表2）

議案38号 予算審査特別委員会

陳情1号 議会運営委員会

意見書5号 地方財政の充実・強化に関する意見書

意見書6号 義務教育費国庫負担制度の拡充など教育予算の充実を求める意見書

意見書7号 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書

意見書8号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

意見書9号 国内農業を犠牲としない日米関税交渉及び、米価の再生産可能価格維持を求める意見書

議案39号 美唄市監査委員選任の件

表 2 補正予算

37号 令和7年度美唄市一般会計補正予算（第1号）

補正額 6574万9000円
補正後の予算総額 196億6090万5000円

歳入	国庫支出金	「交通空白」解消緊急対策事業補助金	300万0000円
		生活困窮者就労準備支援事業費補助金	81万4000円
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	4500万0000円
		介護保険事業費補助金	100万0000円
		繰越金	1477万4000円
	諸収入	雑入	116万1000円
歳出	総務費	公有財産管理事務	232万1000円
		地域公共交通活性化・再生総合事業	300万0000円
	民生費	介護施設等環境改善事業	150万0000円
		住民税非課税世帯等に対する	
		臨時特別給付金支給事業	4500万0000円
		生活保護事務	162万8000円
	諸支出金	下水道事業会計支出金	1230万0000円

お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。令和7年第3回定例会は、9月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。



美唄市議会トップページ



美唄市議会中継

市議会の動き

8日	7月	2019日	1817日	1611日	6日	6月	30日	4月
広報委員会		議会運営委員会 第2回定例会閉会 議会改革推進委員会 広報委員会	総務・文教委員会 産業・厚生委員会 議会運営委員会 予算審査特別委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 第2回定例会開会 議会運営委員会	議会運営委員会 第2回定例会開会 議会運営委員会	議会運営委員会 第2回定例会開会 議会運営委員会	美唄国設スキー場の整備等調査特別委員会	

編集後記

任期4年の折り返しで常任委員会等の議会の構成に変更がありました。広報委員会は前期と同じ構成で残り2年も市議会、だよりの編集に当たらせていただくこととなりました。

紙面の都合等ございますが、議会の動きが少しでも市民の皆さんに伝えられるようにしていきます。

(吉岡)

広報委員会
委員長 松山 教宗
副委員長 吉岡 建二
委員 江川 則秀
委員 海鋒 則秀